



会場を華やかに彩る「四万夢多」の演舞

受け継がれる伝統「幡多神楽」の舞

厳かな空気に包まれた式典会場



20年の歩みを振り返る中尾町長

※「町民表彰」の詳細は、次ページの「まちの話題」にてご紹介します。

旧町村時代を知る人も、合併後に生まれた若き世代も、見つめる未来は一つです。この町で育んだ絆を誇りに、次なる20年に向け、「志」を一つに新たな歩みが始まります。

令和8年3月20日、窪川四万十会館で「合併20周年記念式典」が開催されました。当日は町民や来賓など約250名が出席し、節目を祝う祝祭は盛大に挙行されました。式辞の中で中尾町長は「豊かな自然環境の中、窪川地域、大正地域、十和地域のそれぞれの良さを活かし、元気なまちづくりに努める」と、次代へ続く町の発展への願いを託しました。

二十年の節目、感謝と祝福の式典



信頼を映像に刻む
地域キヤスター

山下 翼さん (金上野)

「伝える」ことが、一つの町を創る

入社1年目から広大な町を駆け巡ってきました。地道な対話は信頼に変わり、取材先でいただく本音が今の私を支えています。

番組がきっかけで、ご家庭や離れて暮らす祖父母との間に温かな会話が生まれる瞬間が何よりの喜びです。

各地の映像を届けることで、遠くの地域も「同じ町」と感じてほしい。町の歩みを映像に刻む使命を胸に、これからも地域の魅力を伝え続けます。



共に歩んだ
仲間感謝する元町長

高瀬 満伸さん (小野)

調整に尽くした8年、感謝を胸に

初代助役と二代目町長を務めた8年間。合併協定の約束を果たす責任を背負い、地域性の異なる3地域の調整に奔走しました。新庁舎建設など困難な局面も、行政関係者や地域の皆さん、職員の協力があつたからこそ乗り越えられたと心から感謝しています。

山と川に「海」が加わったこの町は、大きな可能性を秘めたどこにも負けない地域。次代を担う方々が、理想の町をつくることを願っています。



若者たちをつないだ
「四万夢多」の大旗振り

中越 雅夫さん (下呉地)

交流が生む財産、地域の笑顔が次代へ

合併後、3地域の若者たちが交流しないのはもったいないと『四万夢多』を結成しました。初めて会った若者たちが意気投合し、共に町を盛り上げようと決めた時の喜びは今も覚えています。世代や出身を超えて「人を知る」ことは人生を広げる財産。

地域の笑顔が、何よりの原動力です。その演舞に惹かれた人がまた新たな仲間となり、次代へつながっていくと信じています。

「ひと」が創る、この町の20年。

美しき個性が、町を創る。

合併とは形を創ることではなく、日常の中で互いを知り、心の境界を広げていく歩みです。各地域が育んできた大切な個性は、この町の誇りそのもの。激動の時代をつないだ方々への敬意を胸に、私たちはこの夜明けの美しい風景と共に、新しい時代へ一歩ずつ進んでいきます。



生活の一部に
ケーブルテレビがある視聴者

住吉 福美さん (大正)

更新日が待ち遠しい、120%の楽しみ

開局時から生活に欠かせない存在です。郷土資料館の仕事柄、ここでの活動を発信してもらう機会も多く、放送を見た方が声を掛けてくれることがうれしくて。

普段、よその地区へ行くことはあまりありませんが、画面越しに「今年もあそこに花が咲いた」と季節を感じ、町の今を知っています。

更新日を待つ時間が、日々の楽しみです。



住民に育てられた
町の保健師

中村 晶子さん (琴平町)

人生ドラマに触れ、築いた20年

合併翌年に保健師として採用され、町内各地のお宅を訪ねてきました。当初は地元出身でない苦労もありましたが、時間をかけ信頼を築く中で、今では家族に言えない悩みも打ち明けていただけます。訪問先で何う人生ドラマが私を育ててくれました。

地域の個性を尊重しながら歩む姿もこの町の魅力。住民の皆さんに育てられた恩返しを胸に、これからも一人一人の人生に寄り添い続けます。



地域の食を磨く、
移住24年目の営業部長

福家 和孝さん (大正)

この町の資源は、単独で戦える

妻の故郷である旧大正町へ県外から移住し、未経験で食材の加工販売会社に飛び込んだ私を、町の人々は温かく支えてくれました。その後、合併したこの町は、山・川・海の幸がそろう宝庫。単独で食フェアを開ける魅力は、どこにも引けを取らない強みです。

受けた恩を返すため、地元の資源を磨き、町外へ発信して地域を盛り上げたい。同世代の仲間と共に、これからもこの町で挑戦し続けます。

お問い合わせ先 / 企画課 22-3124